

6月議会

6/4～6/29

議案質疑 手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例など

開会中の6月定例会議会は14日に議案質疑が行われ、日本共産党は山岡光広・小西喜代次・岡田重美の各議員が、手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例、一般会計補正予算など4つの議案について質疑を行いました。日本共産党の他に質疑を行ったのは、凜風会の西村慧議員と田中喜克議員のみでした。また、15日から18日まで一般質問が行われ、21名の議員が質問しました。21日から24日までは各常任委員会付託議案に対する審査が行なわれます。



山岡光広議員

■手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例について

山岡光広議員は、「手話言語条例」ではなく「手話言語及び情報・コミュニケーション促進条例」と一体にした意図は何か、意識啓発・「手話は言語である」という認識の共有、社会的障壁になっていない点に対するサポートなどの取り組み、県内自治体での条例制定の動きなどについて質疑しました。地域共生社会づくりを推進していくということから一体化とした、県内では条例制定は5番目となるが、情報・コミュニケーションと一体化は県内で初めてとなることでした。



小西喜代次議員

■公文書等の管理に関する条例の制定について

小西喜代次議員は、条例制定の背景と動機、条例の期待される効果、定義にある行政文書の具体例の説明などを求めました。平成23年4月1日に施行された公文書等の管理に関する法律で、公文書を適正に管理することが定められていること、条例を制定することにより、これまで以上に公文書の適正な管理、市民への説明責任を果たすことができることの説明。市民へのメリットについてはどうかとの問いに、市の沿革、歴史的に有効なものなど適正に文書管理することで、市民の共有財産としての保存が可能とのこと。



岡田重美議員

■工場立地法における緑地等の基準の特例を定める条例の一部改正について

岡田重美議員は、工場立地法で規定されている工場の緑地及び環境施設の面積の割合が、今回の改正で現在より更に引き下げられ、基準の下限まで緩和されることについて、その理由、また工場周辺地域への環境の影響などについて質疑しました。市内工場では敷地に余裕が少なく、設備投資の計画のため規制緩和を求める要望が複数の企業から寄せられていることから改正するもの。周辺地域への影響は極めて少ないとのことでした。

■一般会計補正予算（第3号）について

山岡光広議員は、新型コロナウイルスワクチン接種事業（16歳以上希望者）について質疑しました。

① 16歳以上64歳未満の人数、見込んでいる希望者の数はどうかに対し、51031人が対象、内80%41000人を見込んでいるとのこと。

② 接種予約方法はどう改善するのかに対し、WEB予約、電話、対面での予約とするとのこと。

③ 対象者が2回接種を終了する時期はいつ頃を目標としているのかに対し、10月末までを目途としているとのこと。

④ 経費については全額国費対応とのことでした。

小西喜代次議員は私立幼稚園振興補助事業について、岡田重美議員は、伴谷統合認定こども園整備事業について質疑、それぞれ事業の内容について説明を求めました。

■今後の6月議会日程

- 6月21日（月）総務常任委員会
- 6月22日（火）産業建設常任委員会
- 6月23日（水）厚生文教常任委員会
- 6月24日（木）予算決算常任委員会
- 6月29日（火）本会議・最終日

*29日の最終日は議案、請願、意見書の討論・採決が行われます。ぜひ傍聴にお越しください。

●4件の意見書を提案、請願の紹介議員に

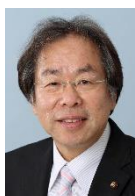
日本共産党議員団は、議案提案権を活かして、4件の意見書を提案しました。また、安定ヨウ素剤を配ってよ！しが連絡会、避難計画を考える滋賀の会から提出された請願の紹介議員になりました。

- ◆もしもの原子力災害に備えるため「安定ヨウ素剤」の事前配布と学校等での備蓄を求める請願
- ◆コロナ禍のもとで東京五輪は中止・延期の決断を求める・・・小西議員
- ◆国民投票法改定案の抜本的改正を求める・・・小西議員
- ◆介護施設の食費負担増の中止・撤回を求める・・・岡田議員
- ◆放射能汚染水の海洋放出撤回を求める・・・山岡議員

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2021年 6月20日 第361号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲
78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696